

# 臼と杵を使った餅つきを体験



ついたお餅は納豆もちにして振舞われ、園児は「とってもおいしいから小さい組のみんなにも食べてもらいたい」「頑張った後のお餅は特別おいしい」などと感想を述べ合いました。つきたてのお餅を嬉しそうに味わっていました。

その後、農業委員の皆さんと二人一組になり、実際に餅つきを体験。「よいしょ！」の掛け声に合わせて、みんなで協力してお餅をつきあげました。

1月29日、町農業委員会主催の豊作祈願餅つきがなかやま保育園で行われ、年長児が臼と杵を使った昔ながらの餅つきを体験しました。



# 新春恒例「初市」



あんこ餅の振舞いは「甘すぎず美味しい」と好評でした



あんこ餅の振舞いも行われ、訪れた人は買物の合間に冷えた体を温めていました。



1月14日、役場前の上町通りで、新春恒例の「初市」が開かれ、縁起物を求める買い客で賑わいました。歩行者天国となった通りには、色とりどりのだんご木や初詣、焼きそば、



長崎小2年生の児童も遊びに来てくれました

# 小正月の伝統行事 だんご木作りに挑戦



1月13日、なかやま保育園で1年間の無病息災や五穀豊穡を願う小正月の伝統行事「だんご木作り」が行われ、年長児が粘土で作った色鮮やかなだんごの飾りつけを楽しみました。これは、子どもたちに昔ながらの農村の暮らしに親しんでもらおうと、県とJAやまがた豊田青年部などが初めて企画・開催したものです。

園児たちは、はじめにJAやまがた豊田青年部の大津規彰部長から飾り付けのコツやだんごの色に込められた意味などの説明を受け、赤、青、黄、白の四色の小麦粉粘土を使ってだんご作りを開始。粘土の色を混ぜてオリジナルのだんごを作ったり、折り紙の飾りを付けたりと、願いを込めながらそれぞれ個性豊かなだんご木を完成させました。谷口斗真くん(梅ヶ枝町)は、「おだんごを丸めながら、お父さんとお母さんがいつもでも元気でいられるように、お兄ちゃんたちと喧嘩しないで仲良く過ごせるようにとお願いした」と話し、鈴木里穂子ちゃん(南小路)は「家族みんなで遊園地にいきたいとお願ひしながら作った。上手にできたので、きつと願いが叶うと思う」とだんご木の出来栄に大満足の様子でした。



# 税金はどんなことに使われるの？



1月12日に豊田小学校、20日に長崎小学校で「租税教室」が行われ、6年生の児童が税金について学びました。この教室は、次代を担う児童に、町や国の財政を支える税の意義や役割を正しく理解してもらおうことを目的としたもので、2年前から実施しています。長崎小学校では、町住民税務課職員が講師を務め、税金の種類や仕組み、その使い道などについて児童が理解しやすいよう、パネル等を使って説明しました。また「税金がなくなったらどうなるか」をシミュレーションしたアニメのDVDが上映され、ごみの収集など生活に必要なものが有料になることや、警察や消防がこれまでのように機能しなくなるということを学びました。

児童は、終始真剣な表情で講義に聞き入っており、はじめは「税金は必要ない」という意見の児童が半数を占めていましたが、税金が自分たちの生活に深く関わっていること、みんなが住みやすい町にするために税金があるという学び、税金への理解を深めていきました。

広告

# 満期を過ぎた郵便貯金はありませんか。

郵政民営化(平成19年10月1日)より前に郵便局にお預けいただいた定額郵便貯金、定期郵便貯金、積立郵便貯金は、法律の規定により、満期後20年2か月経つとお客様の権利が消滅し、払い戻しが受けられなくなります。払い戻しのお手続きはお早めをお願いいたします。



ご家族にもご確認ください。

お問い合わせ先 郵便局の窓口、ゆうちょ銀行店舗 またはコールセンター (0120-108420)

独立行政法人 郵便貯金・簡易生命保険管理機構 〒105-0001 東京都港区虎ノ門5-13-1 電話 03-5472-7101